

団体名： 旭商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D 評価							
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足			目標①	目標②	
巡回・窓口相談指導事業	地区内の小規模事業者に対して、経営、労務、金融、税務等の課題解決のために個別に相談指導を行う。また、より高度な課題解決や経営力向上のための提案などを進めるため、国、県の小規模事業者施策の利用を積極的に進め、特に専門家派遣などの支援制度を活用し、事業者の経営発展に寄与する。	・巡回窓口指導実企業数 100社 ・巡回窓口指導延件数 372件 ・課題解決提案件数 10件 ・経営革新承認件数 1件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 148.8%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	得られた効果	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	巡回窓口指導を積極的に実施することにより課題の掘り起しを行う。次年度も巡回指導に力を入れるため現行どおりの目標とする。		
記帳継続指導事業	個人事業主等を対象に正しい記帳方法を指導するとともに年末調整や決算確定申告の指導を通して適正な税務申告を支援する。	・指導対象者数 32人 ・指導延日数 232日 ・指導延回数 453回	小規模事業者	指標	記帳継続指導対象者数 (達成度 106.7%)	指標	(達成度 %)	個人事業主の正しい記帳による決算書を作成し、適正な税務申告ができた。また、インボイス制度について対応できた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標②	事業主の高齢化に伴い更に持続可能な経営を旨として維持する。		
講習会等	小規模事業者が抱える経営上の問題点に対応する実務的な研修会及び個別の講習会等を開催する。	講習会開催回数及び受講予定者数 集団 4回 9人 (オンライン配信併用型) (内、経営革新 1回 0人) 個別 3回 19人 計 7回 28人	小規模事業者	指標	講習会開催回数 (達成度 116.7%)	指標	(達成度 %)	税制改正など旬な講習会を実施することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	集合型講習会の実施方法を引き続き、オンライン配信併用型で開催する。		
若手後継者等育成事業	若手後継者等の積極的な経営展開を支援するために、実践型セミナーを開催する。青年部、女性部が資質向上のために全国大会に参加する。	セミナーの開催 開催回数 2回 19人 全国大会参加 青年部 3人 女性部 3人 満足度調査5項目の内、「やや満足」「満足」の割合 100%	小規模事業者等	指標	セミナー・全国大会参加者数 (達成度 138.9%)	指標	満足度調査の割合 (達成度 125.0%)	若手後継者等の事業承継及びBOPセミナーを実施し、各事業所の事業継続の意識を高めることに寄与できた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	セミナー事業を中心に若手後継者等の資質向上を目指す。		
とよたの特産品販路拡大事業	地域の特産品の販路拡大を推進するために「とよたの特産品展」を開催する。	とよたの特産品展の開催 出店者数 4事業所 開催場所 プライムソリー赤池	小規模事業者	指標	出店者数 (達成度 133.3%)	指標	(達成度 %)	ショッピングモールに開催場所を変えたことにより売上金額は下がったが購入者の購買行動を把握できたため充実した事業内容になった。	総合評価	A	実施評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標②	経営発達支援計画に則り目標数を上げる。		
祭典	地域独自の各種祭典事業を開催し、地域の良さをPRし、地域外の人々との交流を促進することにより地域の活性化を促進する。	マイタウンおいでん旭 約500人、 商工祭 約600人、 その他の祭典 約160人 総来場者数 1260人	小規模事業者等	指標	総来場者数 (達成度 74.1%)	指標	(達成度 %)	来場者数は天候に左右されやすく、実績数値は減ってしまったが、雨天時でも対応できる体制は確立できた。	総合評価	B	実施評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標②	天候の影響を受けにくい運営体制を整備するとともに、広報強化や内容の充実により来場者数の増加と満足度向上を図る。		
商店街振興事業	商店街活性化を目的とした、小渡商店街活性化委員会、その他商業振興に係る商業関係団体の支援を推進する。	商業関係団体指導回数 6回 街路灯の維持管理 84基 (内LED化 71基)	小規模事業者等	指標	商業関係団体指導回数 (達成度 85.7%)	指標	(達成度 %)	商店街関係団体を支援し、その振興に向けて指導を行い、商店街事業の円滑な推進を図った。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	地域活性化のため空き店舗対策を中心に引き続き地元商業団体を支援する。		
観光振興事業	観光関連事業による地域の活性化は不可欠であるため、観光協会や観光関係団体との連携による事業を積極的に推進し、交流人口の拡充による地域活性化を促進する。また、旭地区の特産品ブランド商品を目指し開発のための調査研究を実施する。	観光協会等との連携を含む各種観光事業の実施 各種観光振興事業の開催数 7回 (しだれもも、笹戸じねんじょもみじまつり、風鈴まつり、つくば梅まつり、奥矢作温泉郷花火大会、敷島盆おどり、小渡盆おどり) あさひ特産品ブランド化推進事業会議の開催数 2回	小規模事業者等	指標	商店街振興事業 (達成度 100.0%)	指標	特産品会議開催数 (達成度 66.7%)	ブランド認定会議において、高齢者向けの事業案が検討され、その中で買取り物困難者対策と地区内の販売促進を兼ねた取り組みが生まれた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	観光振興事業が気象変動により1つ減り止まったため目標数を下げる。またブランド認定に資して新たな地区内販売促進の方法について協議する。		
調査・広報事業	電子メール及びSNS等を活用し小規模事業者等へ各種情報を提供する。その他、国、県の支援施策や中小企業のための各種共済などの情報を積極的に提供する。	商工会電子だより発行 4部 各種施策や共済等のパンフ等の配布 236部 計 240部 旭地区内景況調査 年4回	小規模事業者	指標	施策パンフ等発行部数 (達成度 181.8%)	指標	旭地区内景況調査 (達成度 100.0%)	旭商工会のLINEアカウントを取得し、SNSでも郵送物でも各種施策や補助金情報を発信することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	商工会電子だより発行部ではなく、SNS等の情報発信数に変更する。		

団体名： 旭商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価					今後の展開・改善点等		備考		
				指標	数値		指標	数値			総合評価	A	実施評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②
青年部・女性部事業	若手後継者や商工業に携わる女性の育成は、地域商工業振興につながる重要な事業であることから、積極的な育成事業、地域振興事業を推進する。	青年部、女性部の部員増強による事業活性化を図る。両部における部員数確保計38名 青年部（風鈴まつり他）6回 女性部（花いっぱい事業他）3回	小規模事業者	指標	部員数 (達成度 92.7 %)		指標	(達成度 %)		青年部主催の地域振興事業を実施することができ、地元でも大変好評だった。								総合評価	A	実施評価の
				目標数値	41	実績数値	38	目標数値			実績数値		B	A	必要性	下げる	実施方法①			
福利厚生事業	事業所の福利厚生の拡充を促進するため、中小企業共済を中心とした共済制度の普及を図る。	巡回・窓口相談指導と同時に共済の加入推進を行う。中小企業共済 年度末加入保有件数 239件	小規模事業者等	指標	年度末加入保有件数 (達成度 101.7 %)		指標	(達成度 %)		小規模事業者等に積極的に中小企業共済の加入勧奨を実施し、加入者が増え、事業所としての福利厚生事業の強化につながった。	総合評価	A	実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現状維持に引き続き努める。
				目標数値	235	実績数値	239	目標数値						実績数値					A	
健康普及事業	健康診断の受診者が比較的小規模事業者の診断受診を促進するため、集団健康診断を実施する。健康診断受診者数 59名	健康診断受診者数 59名	小規模事業者	指標	健康診断受診者数 (達成度 98.3 %)		指標	(達成度 %)		小規模事業者の健康の増進、健康意識の向上を図ることができた。	総合評価	A	実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	積極的に受診募集を行う。
				目標数値	60	実績数値	59	目標数値						実績数値					A	
労働保険事業	事業主の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付、その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、中小事業主の事務処理負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な納付を図ることを目的とする。	労働保険指導事業所数30社	小規模事業者	指標	労働保険指導事業所数 (達成度 120.0 %)		指標	(達成度 %)		事業主の保険給付等の事務処理負担の軽減、労働保険の普及及び適正な保険料の納付ができた。	総合評価	A	実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	積極的な税務指導に努力する。
				目標数値	25	実績数値	30	目標数値						実績数値					A	
税務関係団体指導事業	青色申告会の支部運営事務等をはじめ、納税貯蓄組合、間税会の事業への協力を行うとともに、税務指導や税制改正等の情報提供を行う。申告書提出の利便性確保のため、商工会受付の促進を図る。	税務指導の拡充による確定申告の受付等、小規模事業者の利便に供する。確定申告受付件数 69件	小規模事業者	指標	確定申告受付件数 (達成度 86.3 %)		指標	(達成度 %)		小規模事業者からの消費税申告などの新規依頼が増える一方で高齢を理由に廃業する方も増え、確定申告受付件数が全体的には減った。しかし当該地区唯一の税務指導団体として存在感を示すことができた。	総合評価	A	実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	積極的な税務指導に努力する。
				目標数値	80	実績数値	69	目標数値						実績数値					B	
伴走型小規模事業者支援事業	小規模事業者の経営に対する意識、意欲を高めるための意識改革を促し、希望を持って積極的に事業活動を行うことにより地域経済が活性化する方向性を導くために小規模事業者の事業計画策定、実施を促進する。	事業計画策定セミナー1回 10名 DX推進セミナー1回 11名 事業計画書策定支援4事業所	小規模事業者	指標	セミナー開催回数 (達成度 100.0 %)		指標	事業計画書策定数 (達成度 50.0 %)		BIZミルを活用した事業計画書策定支援を通して小規模事業者持続化補助金に採択された事業所に対して効果的にフォローアップができた。	総合評価	A	実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	経営発達支援計画の目標数に則り、事業計画書策定の重要さに加えDX推進を周知し実施する。
				目標数値	2	実績数値	2	目標数値	8					実績数値				4	B	
事業継続力強化支援事業	近年、自然災害や感染症の流行、さらにはサイバー攻撃などのリスクが高まり、小規模事業者にとって事業継続の重要性が一層増している。特に、地域に密着した事業を展開する小規模事業者は、災害発生時の被害を受けやすく、事業の中断が地域経済や雇用にも大きな影響を及ぼす可能性があるため、事業継続に向けた商工会の体制整備や各事業所へのBCP策定を促進する。	BCP策定セミナー 0回 0名	小規模事業者	指標	セミナー開催回数 (達成度 0.0 %)		指標	(達成度 %)		一般向けにBCPセミナーは開催できなかったが、若手後継者等のセミナーは実施でき、BCPの必要性を認識してもらったことができた。	総合評価	B	実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	次年度は開催できる体制づくりを整える。
				目標数値	1	実績数値	0	目標数値						実績数値					D	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。